



再春館製薬所 女子の部で初優勝!

第66回 全日本実業団バドミントン選手権大会開催

〜本市出身の山口茜選手、松川直弘選手がコートで躍動!〜



優勝決定の瞬間



試合中の松川直弘選手



銅メダルの松川直弘選手



決勝戦での山口茜選手

6月29日〜7月3日の5日間、第66回全日本実業団バドミントン選手権大会が勝山市体育館ジオアリーナ他2会場で開催されました。

女子の部決勝では、大熱戦の末、山口茜選手所属の再春館製薬所が日本ユニシスを3-2で破り、初優勝を遂げました。

また、男子の部はトナミ運輸が日本ユニシスを3-1で破り、2年連続10度目の優勝を果たしました。松川直弘選手所属の日立情報通信エンジニアリングは惜しくも3位でした。

山口茜選手の試合では、立ち見が出るほどの観客で体育館がいっぱいになり、会場一丸となった応援で盛り上がりました。

試合を終えて



山口茜選手

チームとしての初優勝が勝山でできてうれしい。

個人的には決勝戦で負けてしまったけれど、優勝させてくれた先輩方や応援してくれた勝山や熊本の方々に感謝の気持ちでいっぱいです。



再春館製薬所 今井彰宏監督(勝山市出身)

地元の勝山で、現役の間に実業団が開かれ、優勝という最高の形で終われたことに対してすごくうれしく思っています。

いろいろな方のご協力やご尽力があつたの優勝になったと思っております。ありがとうございました、本当にうれしです。

第12回 勝山恐竜クロカンマラソン開催

〜1,894人が参加
かつやま恐竜の森を疾走〜



選手宣誓 (渡辺さんご一家)



ゴールまであと一息



親子で快走



ウォーキング

第12回勝山恐竜クロカンマラソンが6月12日にかつやま恐竜の森(長尾山総合公園)を中心に開催されました。

今年は、県内外から1894人のランナー(ウォーキングを含む)が2kmから20kmの37部門において新緑の森の中を駆け抜けました。



ゴールする君原健二さん



君原健二さんのサイン会

また、かつやま、マラソン大使、でメキシコ五輪銀メダリストの君原健二さんもゲストランナーとして、親子の部2kmと10kmの部に参加され、サイン会を行ったり、表彰式のプレゼンターを務めたりと会場を盛り上げていました。